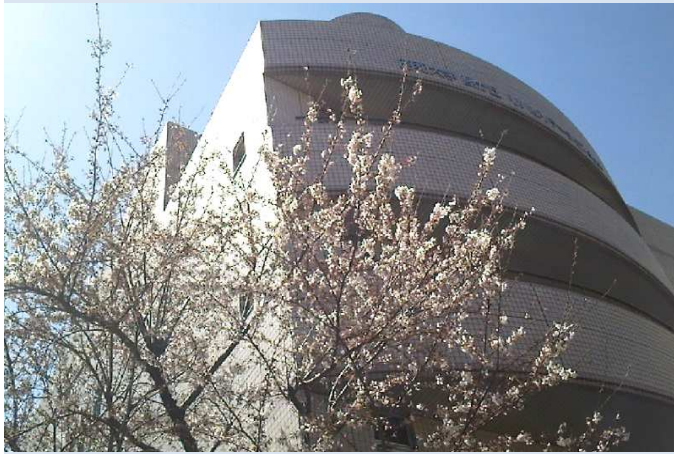


昭和大学藤が丘病院 藤が丘リハビリテーション病院だより 第281号

第281号【2011年3月・4月】
発行者：昭和大学藤が丘病院
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
発行責任者 三邊 武幸
(広報委員会委員長)



『災害時における地域との連携の重要性』

昭和大学藤が丘病院 消化器内科 教授 高橋 寛

『昭和大学藤が丘病院 総合相談センター』

『青梅消防署より感謝状を授与しました』

『昭和大学藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院
患者満足度調査を行いました』

巻頭言 『災害時における地域との連携の重要性』



消化器内科 医長・教授 高橋 寛

東関東・東北地方を未曾有の大地震が襲いました。マグニチュード9.0と日本観測史上最大規模の地震でした。関東大震災の45倍の強さであったと言われていす。死者・不明者は20,000名を超え、35万人以上の人々が避難していると聞きました。特に岩手県や宮城県では多くの犠牲者が出たことは誠に痛恨の極みであり、心よりご冥福をお祈りいたします。

今回の地震でいかに津波が恐ろしいものかは連日の報道で明らかです。今回の地震の被害は特に津波による場合が90%以上と言われています。津波の破壊力の凄さは想像を絶するものであり被災地は壊滅的な打撃を受けました。このような事態に際して、病院の機能の維持と安全を確保することは到底困難ですが、災害時においては地域の医師会との連携をとりながらどのような医療の提供が出来るかを常に考えておかなければなりません。病院の機能の維持に関しては、医療機器や設備の損傷状態を把握し復旧に努めなければなりません。被災した場合には残った病院機能の維持と安全を確保しつつ、地域の緊急要請に応えるべく体制を整えなければなりません。青葉区医師会では例年2月に災害訓練を医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護師さらに本年からは柔道整復師会も参加して行っています。その他青葉消防署、通信班として横浜アマチュア無線非常通信協力会青葉区支部の方々がボランティアとして参加しています。藤が丘病院は真田院長が毎年参加していますが、今年から私も参加しました。訓練は震度7の南関東直下型地震が発生し、青葉区のライフラインは全て切断状態となったという設定です。訓練では負傷者のトリアージ、応急処置、救護訓練が行われました。重傷者は藤が丘病院に転送される設定となっております。このような訓練を毎年継続して行われています。藤が丘病院は災害時には医師会と協力して、地域の中核病院としての役割を担っており、災害時の医療体制に中心的役割を果たさなければなりません。実際の災害時には現場は相当な混乱が予想されます。それぞれが何をすべきかを冷静に判断し行動しなければなりませんので、このような訓練を継続する意義は大きいと思います。

今回の東日本大震災では、横浜でも震度5強の大きな揺れを感じました。不幸中の幸いでしたが横浜では大きな被害はみられませんでした。しかし通信や交通手段が混乱状態に陥ったことや計画停電などにより多大な影響を受けました。いかにわれわれの日常生活の基盤が危ういかを物語っています。常日頃の準備を怠らないことが肝要であると考えます。

被災され亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

昭和大学藤が丘病院 総合相談センターの紹介

総合相談センターは、「患者・家族への支援と地域との連携部門として、外来・入院および退院後の患者・家族のニーズに合わせた医療の提供から各種相談まで総合的にサポートすることと、医療安全の点から苦情や相談に適切に対応する」ことを目的に院長直属の部署として、平成21年4月1日に開設されました。構成員はセンター長に院長、副センター長医師2名、栄養士・薬剤師はそれぞれ1名で兼任、専任の職員は事務員2名、受診相談看護師1名、ソーシャルワーカー3名、退院調整看護師1名の体制です。運営体制は、患者相談は事務員、薬に関する相談は薬剤師、食事に関する相談は栄養士が行っています。経済問題・社会保障・福祉制度紹介・小児虐待に関する相談や転院調整はソーシャルワーカーが担当し、在宅療養支援は退院調整看護師が地域の訪問診療所・訪問看護事業所や介護支援専門員と連携をしながら行っております。

直接的援助業務は、外来から入院患者を対象に転院および在宅療養調整業務を担っています。主に在宅支援では依頼のほとんど59%が、がん終末期にある患者であり、診療科別にかみみると、消化器外科・内科・呼吸器内科の順に多い状況でした。中には自宅での看取りを希望する患者家族もいます。それだけでなく、CVポートを埋め込みHPN管理や疼痛コントロールで麻薬を使用していたり、医療処置を残したまま在宅へ移行するため、患者家族の精神的不安や医療・介護量の負担を抱えるため、地域の関係機関との連携が重要です。転院調整の実際は、病状の不安定さ、病気の重複、介護量が多いが医療区分が低い場合やキーパーソンが希薄、経済面、転院後の方向性として在宅が考え難いなど様々な要因による困難なケースが多い現状です。

教育においては、ソーシャルワーカーや退院調整看護師それぞれの職種が外部研修会や学会セミナーへ参加をして質向上や業務改善に努めています。また、人材育成として、平成21年度から、退院調整看護師が看護部主催の院内教育で、クリニカルラダー3を対象に退院支援に関連する活動を開催しています。次年度平成23年度からは、全看護師を対象とした教育活動を行い、退院支援に関心を持ち入院初期から支援できる人材の育成に取り組むと考えています。当センターは、今支援を必要としている患者家族に手をさしのべることのできる環境づくりを大切にしています。そのために、院内多職種だけでなく、地域関係機関との連携を強化して、患者さんご家族が安心して退院できることを目標に今後も努力してまいります。

(総合相談センター 斎藤佳織)



昭和大学藤が丘病院 青梅消防署より感謝状を授与しました



平成23年2月20日(日)に青梅市内にて行われた青梅マラソンにおいて藤が丘病院救命救急センター 医師 白畑 敦と産婦人科 医師 三科美幸が人命救助を行い青梅消防署より表彰を授与しました。

表彰後2人から『人の為になり良かったと思います。これからも頑張って走ります』『患者さんが元気になられたそうなので、良かったと思います。来年は完走したいです!』といったコメントがありました。

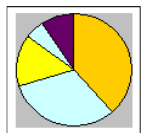
昭和大学藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 患者満足度調査を行いました

平成22年11月8日～平成23年1月3日の間で、入院患者さん及び外来患者さんに藤が丘病院・リハビリテーション病院の患者満足度調査を行いました。この調査は医療サービスの質の向上と改善を組織的に取り組むことを目的に実施しています。外来では合計1413名の方よりご回答を得ることができました。結果については、藤が丘病院1階会計センター前の掲示板に、リハビリテーション病院はG階にて掲示しております。調査にご協力頂き、ありがとうございました。頂いたご意見・ご指摘事項については、各部署で検討させていただきます。

【外来調査】

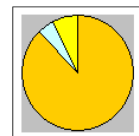
診察の待ち時間について

30分以内	545	38.6%
30分～1時間	443	31.4%
1時間以上2時間未満	218	15.4%
2時間以上	79	5.6%
その他・無回答	128	9.1%
計	1413	100.0%



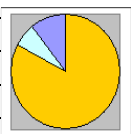
診察・検査・処置の際に名前を確認されましたか

確認された	1241	87.8%
確認されなかった	71	5.0%
わからない・無回答	101	7.1%
計	1413	100.0%



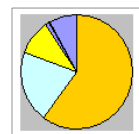
親族や知人の方に当院を紹介する気持ちになりましたか

はい	1167	82.6%
いいえ	98	6.9%
無回答	148	10.5%
計	1413	100.0%



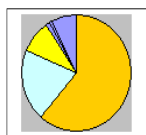
担当医の対応はいかがでしたか

5(十分)	848	60.0%
4	292	20.7%
3	138	9.8%
2	17	1.2%
1(不十分)	8	0.6%
無回答	110	7.8%
計	1413	100.0%



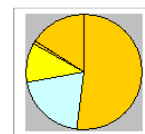
担当医の説明を理解することができましたか

5(十分)	862	61.0%
4	289	20.5%
3	132	9.3%
2	18	1.3%
1(不十分)	7	0.5%
無回答	105	7.4%
計	1413	100.0%



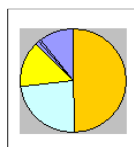
看護師の対応はいかがでしたか

5(十分)	733	51.9%
4	283	20.0%
3	159	11.3%
2	9	0.6%
1(不十分)	7	0.5%
無回答・該当なし	222	15.7%
計	1413	100.0%



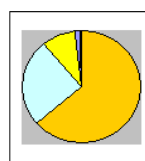
事務員の対応はいかがでしたか

5(十分)	700	49.5%
4	332	23.5%
3	205	14.5%
2	16	1.1%
1(不十分)	12	0.8%
無回答・該当なし	148	10.5%
計	1413	100.0%



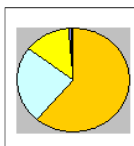
放射線技師の対応はいかがでしたか

5(十分)	316	63.5%
4	126	25.3%
3	48	9.6%
2	6	1.2%
1(不十分)	2	0.4%
無回答・該当なし(915)		0.0%
計	498	100.0%



検査技師の対応はいかがでしたか

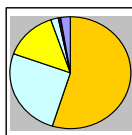
5(十分)	391	60.7%
4	158	24.5%
3	87	13.5%
2	6	0.9%
1(不十分)	2	0.3%
無回答・該当なし(769)		0.0%
計	644	100.0%



【入院調査】

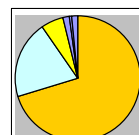
入院の案内はわかりやすかったですか

5(十分)	768	54.6%
4	367	26.1%
3	199	14.1%
2	30	2.1%
1(不十分)	9	0.6%
無回答	34	2.4%
計	1407	100.0%

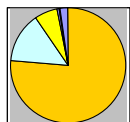


看護師は入院生活・治療に戸惑わないよう対応していたか

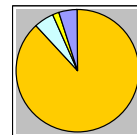
5(十分)	988	70.2%
4	288	20.5%
3	77	5.5%
2	22	1.6%
1(不十分)	9	0.6%
無回答	23	1.6%
計	1407	100.0%



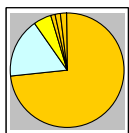
医師はあなたの意見を尊重して聞いてくれたか		
5（十分）	1069	76.0%
4	205	14.6%
3	90	6.4%
2	8	0.6%
1（不十分）	3	0.2%
無回答	32	2.3%
計	1407	100.0%



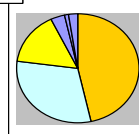
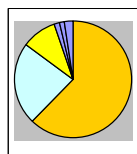
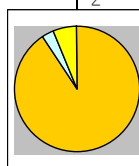
入院時、治療方針について説明があり、計画的だったか		
説明があり計画的に進んだ	1237	87.9%
説明されたが計画通りにならなかった	77	5.5%
説明がなかった	22	1.6%
無回答	71	5.0%
計	1407	100.0%



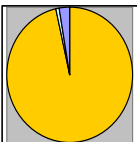
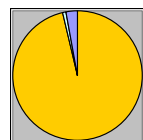
看護師の対応はいかがでしたか		
5（十分）	1029	73.1%
4	242	17.2%
3	71	5.0%
2	20	1.4%
1（不十分）	19	1.4%
無回答・該当なし	26	1.8%
持てなかった	43	3.1%
その他	85	6.0%
計	1407	100.0%



医師・看護師以外の職員の対応はどうだったか		
5（十分）	875	62.2%
4	322	22.9%
3	136	9.7%
2	19	1.4%
1（不十分）	18	1.3%
無回答・該当なし	37	2.6%
持てなかった	424	30.1%
その他	223	15.8%
計	1407	100.0%



点滴、処置、検査時に名前を確認されたか		
確認された	1356	96.4%
確認されなかった	13	0.9%
分からない	38	2.7%
計	1407	100.0%



【診療統計】2011 年 1 月～2 月（ ）内は1日平均

	藤が丘		リハビリ	
	1 月	2 月	1 月	2 月
外来患者数	33,612 人 (1461.4 人)	32,256 人 (1,402.4 人)	6,439 人 (280.0 人)	6,520 人 (283.5 人)
入院患者数	15,207 人 (506.9 人)	14,561 人 (520.0 人)	5,269 (188.2 人)	5,309 人 (189.6 人)

編集後記

3 月に入って少し暖かい日何日かあったかと思うとまた寒い日々に戻りしています。こんな日々で体調を崩していらっしゃる方もおおいでしょう。また人事異動が発表されたり、定年の方、退職の方などがいらっしゃる中、新人のってくる季節がやってきます。新年度を迎え藤が丘病院・リハビリテーション病院もどんどん変化を遂げようとしています。体調には気を付けながらも、新しい波にうまく乗れるといいのですが、・・・・・・

（広報委員 扇谷浩史）

広報委員 三邊武幸 末木博彦 吉村吾志夫
谷山松雄 扇谷浩史 池田裕一 田口清 高橋良昌
上/宮彰 西山謙一 岩田香苗 吉原利栄 伊藤久美
高橋良治 庄司博 佐藤薫 川西丈巳 渡邊哲
太田麻美（順不同）